

5. 地域や支所の特色を活かした支援

5.1 多摩テクノプラザ

多摩テクノプラザでは、多摩地域に集まる、電気・輸送用・情報通信機械などの加工組立型産業に加え、織物業などの繊維産業に係わる中小企業への支援として、繊維強化複合材料などの開発支援を行う複合素材開発サイト、車載電子機器などの評価による開発支援を行うEMCサイトの2つのサイトを活用して多摩地域の産業支援を実施している。2021年度の実績は、依頼試験が17,668件（うち、多摩地域企業の利用実績6,579件、37%に相当）、機器利用が14,050件（うち、多摩地域企業の利用実績7,025件、50%に相当）であった。

5.1.1 複合素材開発サイト

繊維強化複合材料の開発支援のため、繊維製品や複合材料の試作加工と品質評価を実施している。主な支援内容は以下のとおり。

- ・繊維強化プラスチックの試作加工支援
熱硬化性樹脂、熱可塑性樹脂の複合材料成形に対応したオートクレーブ成形機、高温プレス成形機等を用いた試作加工支援を実施
- ・スマートテキスタイルの製品開発支援
めっき繊維、金属線、アルミナ繊維を用いた編織物製造技術とエレクトロニクス技術を融合し、スマートテキスタイルや燃料電池などの製品開発を支援
- ・多摩地域の繊維産業に対する技術支援
繊維製品のクレーム解析試験をはじめ、糸から最終製品の試作加工や品質評価を総合的に支援できる体制を整備し、「繊維・複合材料試験」としてのブランド試験を実施

5.1.2 EMC サイト

EMC サイトでは、民生および車載用電子機器の安全性評価による開発支援を実施している。主な支援内容は以下のとおり。

- ・民生機器向けの EMC 評価の実施
民生機器向けの EMC 試験として、エミッション測定、イミュニティ試験を実施
- ・車載機器向けの EMC 評価機器の稼働
車載機器向け放射イミュニティシステムによる技術支援メニューを拡充し、2021年度から試験を開始
- ・多摩地域の企業に即したオーダーメイド型技術支援の開始
多摩地域の電気・輸送用・情報通信機械等製造業に即した支援として、新規に放射エミッション測定に関するオーダーメイド型技術支援のメニューを構築し、2021年10月からサービスを開始

5.1.3 地域連携による支援および協力

多摩地域の企業支援機関、大学などと連携し、地域連携による企業支援を行った。

- ・公益財団法人東京都中小企業振興公社多摩支社：イノベーション多摩支援事業 産学連携 合同 Web 面談会にて研究成果 2 件を報告
- ・東京都立大学：ワイヤレス給電システムに関する共同研究を実施 論文掲載 1 報
- ・東京都商工会連合会：アンケート調査の協力と日野市商工会等会員企業への都産技研事業の紹介

5.2 城東支所

金属・機械部品・日用品製造業が多く集まり、伝統産業も盛んな城東・城北地域において、三次元造型機などを活用してデザイン開発を支援するデザインスタジオ、また、各種の加工機を活用した試作品作製支援を実施するものづくりスタジオを設置し、地域産業のものづくり支援を強化している。2021 年度の実績は、依頼試験が 8,303 件（うち、城東・城北地域企業の利用実績 2,068 件、25%に相当）、機器利用が 10,197 件（うち、城東・城北地域企業の利用実績 4,315 件、42%に相当）であった。

5.2.1 地域連携による支援および協力

近隣地域の自治体、企業支援機関、大学などと連携し、地域連携による企業支援を行った。

- ・江戸川区と都産技研の連携事業である公設試験研究機関等利用促進事業助成金を活用して区内異業種企業 3 社が共同開発した「飛沫防止 LED パーテーション」のデザイン・試作を支援
- ・東京都立大学、東京理科大学、地域内企業と小型レーダーデバイス開発の共同研究を実施
- ・第 37 回葛飾区産業フェアを葛飾区、関係団体、企業と協働して開催。同時に城東支所施設公開を開催（10 月 16、17 日）。ものづくりスタジオ見学者 1,496 名、城東振興センター入場者約 2,200 名

5.3 墨田支所

生活技術開発サイトを設置し、生活関連製品や産業用資材などを中心に、「人間にとっての使いやすさ」、「快適性・安全・健康」に配慮した製品開発、高付加価値なものづくりを支援している。2021 年度の実績は、依頼試験が 2,999 件、機器利用が 8,286 件であった。

5.3.1 地域連携による支援および協力

近隣地域の自治体、企業支援機関などと連携し、地域連携による企業支援を行った。

- ・第 10 回すみだファクトリーめぐり「スミファ」に参加協働し、オンラインにて施設公開を開催
- ・東京都立皮革技術研究センター（墨田区）推進協議会委員
- ・公益財団法人台東区産業振興事業団審査委員

5.4 城南支所

研究開発型中小企業が多い城南地域の産業特性に即して、先端計測加工ラボを設置し、リバーエンジニアリングや開発品の包括的安全性評価を実施することで、高付加価値製品の開発を支援している。2021 年度の実績は、依頼試験が 8,038 件（うち、城南地域企業の利用実績

2021年度 年報

3,867件、48%に相当)、機器利用が8,089件(うち、城南地域企業の利用実績4,151件、51%に相当)であった。

5.4.1 地域連携による支援および協力

近隣地域の自治体、企業支援機関などと連携し、地域連携による企業支援を行った。

- ・公益財団法人東京都中小企業振興公社「チャレンジ道場事業」において造形装置による試作品作製に協力、ペット用食器の製品開発を支援
- ・大田加工技術展示商談会(来場者数:1,527名)、おおた研究開発フェア(オンライン、アクセス者数:1,418名)、おおた工業フェア(オンライン、アクセス者数:1,168名)に出展し、地元企業へPR
- ・さわやか信金からの顧客紹介による技術相談を実施

5.5 食品技術センター

2021年度より、食品技術センターを統合し、食品産業に関わる研究開発や支援業務を実施している。食品技術センターの有する食品技術と都産技研の有する工業技術の相乗効果により、新技術・新製品開発、デザイン向上、生産性向上による商品開発など、食品産業に関わる中小企業支援を強化していく。2021年度の実績は、依頼試験が630件、機器利用が3,077件であった。

5.5.1 東京都の農林水産業振興部門と連携

食の地産地消等の推進に向けて、東京都の農林水産業振興部門と連携を図り、地域の特色を活かした商品開発を支援した。

(1) 農業振興事務所との連携

農業改良普及センターに寄せられる地域資源を活かした農産物加工に係る要望に対応した

- ・農産加工事業者に農産物の加工利用と機能性に関する技術、農産加工の現場で役立つ簡易検査の講義と実習を実施(依頼講演、1月26日、4名受講)
- ・使用部位による風味・外観の差、加工法検討を実施し、奥多摩産わさびを使用した「わさびパウダー」の製品化を支援、奥多摩エリアで業務用に販売開始

(2) 公益財団法人東京都農林水産振興財団との技術連携

東京都農林総合研究センター等と連携して地域資源を活用した食品開発を実施した。

- ・コマツナ含有成分の加工による消化吸収特性変化の解明(基盤研究)
- ・採卵後のヤマメの有効利用技術の開発(共同研究)